

平成 29 年 11 月 24 日

各 位

会 社 名 株式会社オプトエレクトロニクス
 代表者名 代表取締役社長 俵 政 美
 (J A S D A Q ・ コード 6 6 6 4)
 問合せ先 管理部部長 石川 勝利
 電 話 0 4 8 - 4 4 6 - 1 1 8 1

棚卸資産評価損の計上並びに 平成 29 年 11 月期通期連結業績予想及び配当予想の修正（無配）に関するお知らせ

当社は、平成 29 年 11 月 24 日開催の取締役会において、以下のとおり棚卸資産評価損を計上するとともに、最近の業績の動向等を踏まえ、昨年平成 28 年 12 月 21 日に開示した平成 29 年 11 月期（平成 28 年 12 月 1 日～平成 29 年 11 月 30 日）の連結通期業績予想を修正することを決議いたしました。

1. 棚卸資産評価損の計上

平成 29 年 11 月期より経営改革の一環として、2次元コードに対応する CMOS モジュール製品の開発に注力するにあたり新製品の開発体制及び既存製品の販売体制の見直しを行い、当社グループの既存製品在庫において、当社の棚卸資産評価基準に則り評価損を計上することを決定いたしました。

この結果、当社及び連結子会社の北海道電子工業において、棚卸資産評価損として 465 百万円を売上原価に計上する見込みとなりました。

2. 通期連結業績予想の修正

(1) 平成 29 年 11 月期通期連結業績予想の修正（平成 28 年 12 月 1 日～平成 29 年 11 月 30 日）

(単位：百万円)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	親会社株主に帰属する当期純利益	1 株 当 た り 当 期 純 利 益
前回発表予想 (A)	7,600	570	540	350	円 銭 56 65
今回修正予想 (B)	7,000	△160	△200	△380	△57 77
増減額 (B-A)	△600	△730	△740	△730	
増 減 率	△7.9%	—	—	—	
(ご参考) 前期実績 (平成 28 年 11 月期)	7,147	515	457	297	48 21

(2) 修正の理由

平成 29 年 11 月期連結会計期間における当社グループの売上高は、前回予想に至らず、7,000 百万円となる見込みです。主な理由は、新製品の開発に時間を要したことから、今期での売上寄与が見込めなくなったことによるものです。

利益面では、上記 1 の当社及び北海道電子工業における棚卸資産評価損の売上原価への計上、売上予想の未達に伴う利益の低下及び繰延税金資産の取り崩しにより、営業損失 160 百万円、経常損失 200 百万円及び親会社株主に帰属する当期純損失 380 百万円となり、前回予想を大幅に下回る見込みとなりました。

3. 配当予想の修正

(1) 平成 29 年 11 月期配当予想の修正

	年間配当金 (円)		
	第 2 四半期末	期 末	合 計
前 回 予 想	—	5.00	5.00
今 回 修 正 予 想	—	0.00	0.00
当 期 実 績	0.00	—	—
(ご参考) 前期実績 (平成 28 年 11 月期)	0.00	5.00	5.00

(2) 修正の理由

当社は、株主の皆様に対する利益還元を経営の重要課題の一つと考え、安定した配当を継続的に行うことを基本方針としております。

しかし、平成 29 年 11 月期通期連結業績予想の修正にともない当期純損失の見込みとなることから、経営資源を事業活動に集中し、早期の復配を実現させるため、平成 29 年 11 月期の配当予想につきましてはまことに遺憾ながら 1 株当たり 0 円の無配と修正することとなりました。

4. 今後の見通し

次期の業績予想につきましては、平成 29 年 12 月 21 日発表予定の「平成 29 年 11 月期決算短信」にて発表いたします。

(業績予想に関する注意事項)

上記の予想は現時点で入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって異なる数値となる可能性があります。

以 上